

同友会が目指す企業づくりの内実を体系的にまとめた「企業変革支援プログラム」が、2022年に「Ver.2」として生まれ変わりました。

従来と何が変わったのか？ どこから手をつければいいのか？ 効果的な使い方は？

今回の改訂にも関わった当事者が、プロジェクトの知られざる裏話も交えて説明します。

7/26(水) 18:30~21:00

会場 高梁市文化交流館

高梁市原田北町1203-1



0866-21-0180

会費 500円

説明 岡山県中小企業家同友会
事務局長 安本 直一氏
(中同協・企業変革支援プログラム改訂プロジェクト)

『企業変革支援プログラムVer.2』をお持ちでない方や
オブザーバーの方もご参加いただけます。
購入を希望される方は当日会場でお買い求め下さい。



申込み/問合せ 岡山県中小企業家同友会 事務局
TEL:086-222-7473 FAX:086-225-3662
e-mail:info@okayama.doyu.jp

右記の二次元コードからも
参加申込みが可能です



■ 申込情報記入欄 ※会員企業社員の方や会員以外の経営者・事業後継者の方もオブザーバー参加が可能です。

会社名			
氏名		役職	
電話番号			

★オブザーバーとしてご参加いただけるのは中小企業経営者・事業後継者・取締役以上の幹部社員です。経営者以外の方や一般社員の方の参加はご遠慮ください(行政・経営支援機関・金融機関を除く)。県外の経営者の方で参加の申込みをいただいた方は、入会ご希望者として最寄りの同友会に連絡先等を紹介させていただきますのでご了承ください(既に入会されている方は除きます)。
※本申込内容は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

はじめて企業変革支援プログラムに取り組む方へ

〈エントリー自己診断〉

自社の変革課題を把握する第一歩は、“自社は現在どのような状態なのか”を確認することです。その上で目標とする姿・理想の姿を構想し、現状とのギャップを認識する必要があります。そのギャップの克服こそが企業変革の課題です。

I	経営者の責任	本編は22ページ
	① 自己変革を自らの責任として認識し、常に能力の向上に努めていますか。	
	② 経営理念のもとに企業活動が営まれていますか。	
	③ 社員の意見や感情を受け止めていますか。	
	④ 社員と共に10年ビジョンを策定・共有していますか。	
II	経営理念を実践する過程	本編は32ページ
	① 財務諸表等の数値を把握し、社内で共有していますか。	
	② 「自社の強み・弱み」「外部環境の機会・脅威」を分析していますか。	
	③ 経営方針を策定していますか。	
	④ 経営計画や部門計画を策定していますか。	
	⑤ 経営指針を社内で共有し、実践状態を定期的に検証・修正していますか。	
III	人を生かす経営の実践	本編は42ページ
	① 安心して快適に働き続けられる労働環境づくりに取り組んでいますか。	
	② 社員との間でコミュニケーションを深め信頼関係を築いていますか。	
	③ 人材の採用・育成・配置・評価までを継続的に行う仕組みはありますか。	
	④ 共に学び、共に育ち合う文化をつくる仕組みはありますか。	
	⑤ 社員が自主性を発揮できる仕組みはありますか。	
IV	市場・顧客及び自社の理解と対応	本編は52ページ
	① 市場・顧客の変化やニーズを正しく把握していますか。	
	② 自社の製品・サービスに対する顧客の満足度を把握していますか。	
	③ 顧客の苦情や要望を関係強化につなげる仕組みはありますか。	
	④ 自社の製品・サービスと市場の適合状況を分析し、効果的な方針・計画を立てていますか。	
V	付加価値を高める	本編は60ページ
	① 現場や市場・顧客の声を、製品・サービスに反映する仕組みはありますか。	
	② 品質の高い製品・サービスを安定的に生産・供給する仕組みはありますか。	
	③ 間接部門の業務プロセスを標準化し、改善を図っていますか。	
	④ 付加価値を高めるための取引先との関係強化を図っていますか。	
VI	企業の社会的責任	本編は70ページ
	① 企業倫理を確立し、社会や地域に対して責任ある経営を行っていますか。	
	② いかなる非常時に際しても中核事業を継続する体制を構築していますか。	
	③ 地域の課題を自社の課題と捉え、その解決に取り組んでいますか。	
	④ 他の企業や団体と積極的に連携していますか。	